

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」センター南校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である		○		法令を遵守した職員配置にできるよう努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			エレベーターのドアが早く閉じてしまうことがあります。職員全員で安全確保に努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃・消毒を実施しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎月事業所内で会議を実施し、情報を共有しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年ガイドラインに基づいたアンケートを実施し、業務の改善に役立てています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎月事業所評価を行い業務改善に繋げています。ガイドラインの自己評価表は毎年ホームページに公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状は保護者様と社内の二者評価となっています。必要に応じて第三者評価も検討致します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月事業所内で研修を実施しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で定めたアセスメントツールを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			個別支援計画は「発達支援」が主となっていますが、「家族支援」になるよう随時保護者様との相談の機会を設けてまいります。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援の準備をする際に確認しやすいよう、ファイルに貼付しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で相談し、プログラム作成に活かしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その日その日の支援を楽しめるよう職員間で工夫を共有しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団両方の時間を設けられるため、必要に応じて計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを実施しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日中でないこともありますが、支援で気づいた点を食委員間で都度確認・共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を作成し、支援前に以前の様子を確認しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも6か月以内という機関でモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	今後、主担当の指導員も参加できるようにしていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子育て訓練所等へ訪問し、事業所情報の提供をしています。	関係機関と連携が取れるよう努めてまいります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの在籍がありません。必要時に連携が取れるよう体制を整えます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの在籍がありません。必要時に連携が取れるよう体制を整えます。

や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報共有など連携の機会を設けています。	移行支援としてはありませんが、今後も関係機関との連携を深めます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	卒業児の保護者様へ、情報の提供を行っています。	卒業児の小学校と情報の共有ができるよう努めます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	保護者様からのご要望や、必要に応じて実施しています。	今後も連携の機会を増やしていきたいと考えています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		現状は交流の機会を作れていません。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	できる限り日程を調整して参加するようにしています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	毎支援時に保護者様とお話の時間を設けています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		プログラムとしてはありませんが、随時保護者様からの相談を受け付けています。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時や内容の変更時に必ず説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	個別支援計画は必ず保護者様に確認していただき同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	毎支援時に保護者様とお話の時間を設けています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	定期的にママカフェという交流会を開催しています。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	事業所内相談支援として適宜対応しています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報は発行できていませんが、掲示にて情報を発信しています。
③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○	個人情報の取り扱いが徹底できるようにマニュアルを定めています。		
③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成し、毎月訓練や研修を行っています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約前や年度ごとに聞き取りを行っています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	水分補給につきましては、ご家庭から水筒を持参していただいています。	必要に応じて医療機関との連携を取れるようにしていきます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		全職員でヒヤリハットの記録をし、毎月の会議で共有しています。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に内部研修を行い、事業所でチェックシートを作成しています。 エリア内では虐待防止委員会を設置しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		重要事項説明書に記載しており、保護者様にも必ず説明しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」センター南校

保護者等数（児童数）：38 回収数：28 割合：74%

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	1			・集団療育の部屋はとても広く、のびのび活動できている。 ・活動にちょうど良いスペースだと思う。	今後も安全に配慮し、危険の無いように努めてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1		2	・過不足は感じない。	現状職員の人数が不足してしまっているため、早急に対応を行います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27			1	・きちんと整理されていて、どこに何を片付けるかなど本人もわかりやすいようです。 ・本人に合った環境を探ってくれている。	安心・安全な空間づくりに努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1	1		・いつもとてもきれいです。 ・室内の床が汚い。 ・本人に合った環境を探ってくれている。	毎日の清掃を継続致します。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28				・こちらから伝える前にいろいろと分析してくれるので、よく見てくれていると感じた。 ・保護者の願いに寄り添ってくれている。	今後も保護者様との連携を密にし、個別支援計画を作成します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	2		2	・丁寧に対応してくれている。	今後も安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28				・できるようになったことが増え、順調に進んでいる。 ・丁寧に対応してくれている。	今後もニーズや状況をよく把握したうえで支援を行います。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	2		1	・子供も楽しんでいる。	今後も楽しんで利用していただけるようなプログラムに努めます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	8	11	<ul style="list-style-type: none"> ・個別での利用のみなので、なかなか機会がない。 ・きらりにこの内容は求めている。 ・きらりからの交流はないと思うが、幼稚園に通っているので特に求めている。 	なかなか交流の機会は設けられておりませんが、希望者には集団療育やイベントなどで他児と関わる機会を作ってまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28				・親切に対応してくれている。	今後も丁寧な説明を心がけます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	1		1	・子供の様子から丁寧な支援策を練ってくれている。	「どのような目的でこの支援を行うか」が説明できるように、職員一同努めてまいります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	17	5	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の対応や声掛けが勉強になる。 ・支援プログラムがよくわからない。 ・目立った保護者向けのプログラムはまだないように思われる。 	プログラムとしてはありませんが、支援後のフィードバック時に保護者様からお話を伺い、少しでも力になれるよう努めてまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28				・家庭の様子にも耳を傾けてくれている。	フィードバックの時間を大切にし、変化に気づけるようにしてまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にはない。あつたらいいなと思う。 ・面談ではないが、都度教えてもらっている。 	支援後のフィードバック時に保護者様とお話をする時間を取らせていただいておりますが、必要に応じて面談の時間も設定させていただきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と連携できているので、不安・不満はない。 ・いまのところ、機会がない。 	ママカフェなどの交流会を定期的開催します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1	1	1	・スタッフの皆さんがとても丁寧に対応してくれている。	今後も保護者様・利用者様の声をよく聞き、丁寧な対応を行います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	1		・満足している。	今後もコミュニケーションを密にし、わかりやすい情報伝達を心がけます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	6	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見る機会がない。 ・自分がよく把握できていない。 	定期的にブログを投稿しているため、ホームページのご案内を行います。掲示物で連絡を行う場合には、随時声かけもまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23				2	・管理方法の説明がないため不明。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	1	1	5	・詳しく説明してもらえたので安心できた。 ・参加の機会がない。	各種マニュアルを自由に閲覧できるように見やすい場所に設置致します。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	5	1	5	・自分がよく把握できていない。 ・これまでに参加する機会がなかった。	訓練実施の周知が不足していたところがありました。全員参加を目標に、声掛けを行います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	21	4			・楽しみに通っています。 一生懸命課題に取り組んでいます。 ・帰るときに「また来たい」と毎回言っている。 ・「きりり」という言葉を聞くのについいてくる。	引き続き楽しんでご利用いただけるよう、職員一同努めてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	24	1			・楽しく通えているので満足している。 ・先生とのやり取りに満足している。 ・遊んでしまう先生と学習できる先生とがいるので、先生によって満足度に差がある。 ・親子共々満足している。	これからも満足感を持っていただけるよう、職員一同努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。